
行方不明の自転車

佐藤佑

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

行方不明の自転車

【Nコード】

N9017R

【作者名】

佐藤佑

【あらすじ】

親に誘われて小惑星探査機「はやぶさ」の展示を見た帰り。せっかく、この寒い日に駅前まで出てきたのだからと親とは帰らずにゲームセンターによることにしたが……

「カオス系都市伝説ホラーミステリー（略）小説」の「自転車」に出てくる自転車のモデルになった自転車を描く実話。

駅前に出たついでにゲーセンに寄ろうと思ったのに
計画停電のせいで午後からしか開店しないらしい。

「はあ。」

ため息を一つつき俺は家に帰ることにする。

家に着くとまだ親は帰ってきてないようだった。

そしてふと思い出す。

すぐそばの河原で友達と掘り起こした壊れた自転車のことを。

あれから、呪われるだとか、ラノベ展開だとか、ことあるごとに出
てくる自転車だが、

つい先日友達が見に行ったときにはなくなっていたらしい。

ほんとなのかどうか？

それを確かめるいい機会だった。

駅の方向に最近かかった大きな橋の向こうからは、
かすかに工事の音が聞こえていた。

俺はその河原へ向かうことにした。

歩くのがじれったくて走り出した。

何が起こるかと思いをはせワクワクしていた。

そして河原につく。

上から見た感じ自転車は見当たらない。

もっとよく確認するために河原に降りることにした。

砂の多く積もっているところまで行き飛び降りる。

そして自転車を掘り起こした跡のある砂を見つけた。

しかし

そこに自転車はなかった。

だが俺たちの足跡が消えている。

もしかしたら川の増水で流されたのかもしれない。

俺はもう一つ駅の方角に降りられる河原があったことを思い出して、
ここの河原から離れ、そこに行ってみることにした。

もう一つ下流の河原にも、

簡単に上り下りのできる砂の多く積もった場所があった。

工事の喧騒を聞きながら飛び降りる。

やはり自転車は見つからない。

ここの河原にも排水口からの水で河原が削られている場所があった。

俺はその向こうも確認することにして、

その場所を飛び越えた。

向こうの河原よりかれた笹のような植物が生い茂る場所。

そこに予想外のものがあつた。

掘り起こした自転車にはついていなかったもの。

そこにあつたのは

自転車のサドルだつた。

怯えたわけではないが、なるべく早く戻ることにした。

河原から上がり家の方向へと走る。

後ろから聞こえてくるのは工事の喧騒だけだと、

俺は信じた。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n9017r/>

行方不明の自転車

2011年11月13日09時17分発行